



礼拝ミニ講座 (5) <主の祈り>

「主の祈り」は主イエスが弟子たちに教えた祈りの模範、お手本です。それゆえに教会の歴史の初めから、礼拝の中で祈られたと考えられます。

礼拝の時だけでなく個人の祈りにおいても、主の祈りを祈ること、あるいは主の祈りに沿って自分のことばで祈ることも良いでしょう。

<主の祈りから教えられる順序とバランス>

- ① 神への親しい呼びかけ 「天にいます私たちの父よ」
- ② 神に関することを思い巡らす祈り
「あなたの御名」、「あなたの御国」、「あなたのみこころ」
- ③ 私たちの必要や願いについての祈り
「私たちの糧」、「私たちの負い目」、「私たちを試みや悪から」

<主の祈りは「私たち」の祈り>

礼拝の時はもちろん、神の御前に一人で出ている、神の家族、教会の一員であることを覚えて祈ります。

<気をつけて祈りましょう>

・慣れ親しんでいるゆえに、形式化し、ただ唱えているだけになってしまう危険があります。一つ一つの祈りのことばの意味をかみしめながら、意志的に祈りましょう。

・礼拝においては、早すぎず遅すぎず、声を合わせて祈りましょう。